

第132回 全国大学国語教育学会 岩手大会 プログラム

1. 日時 2017年5月27日(土) 28日(日)
2. 会場 岩手大学(〒020-8550 岩手県盛岡市上田3-18-33)
3. 後援 岩手県教育委員会 盛岡市教育委員会 日本国語教育学会(申請中)
岩手県国語教育連合会 日本国語教育学会岩手県支部

4. 日程

<第1日目 5月27日(土)>

8:45 9:30 12:10 13:30 14:50 15:00 17:30 18:30

受付	自由研究発表	昼食 理事会	総会	シンポジウム		懇親会
----	--------	-----------	----	--------	--	-----

<第2日目 5月28日(日)>

9:00 9:30 12:00 13:00 16:10

受付	課題研究発表	昼食 研究部門	自由研究発表 ラウンドテーブル 公開講座
----	--------	------------	----------------------------

5. プログラム

*自由研究発表は両日ともに1~3の発表後に10分間の休憩を挟みます。

<第1日目>

◆1 自由研究発表 学生センターA棟1階および2階 9:30-12:10

■第1会場 G1大 司会 阿部 昇(秋田大), 坂口京子(静岡大)

1. ブッククラブは学習者に何をもちたすのか —短期大学におけるブッククラブの実践を基に—
新潟青陵大学短期大学部 峰本義明
2. 米国における「読むことの責任の段階的移行」をめぐる議論について
—その批判と具体化に着目して— 筑波大 勝田 光
3. 国語科におけるニュークリティシズム受容の再評価
—学習者の情動を授業論に組み込むために— 愛知教育大 砂川誠司
熊本市立隈庄小 中村 暢
4. 出来事を読み描くことを学ぶ —小学校低学年の授業事例分析を通して—
群馬大 濱田秀行
5. ジャンルに焦点をあてたノンフィクションの読書指導 新潟大 足立幸子

■第2会場 G2大 司会 高木まさき(横国大), 内藤一志(北教大)

1. 国語学者から見た国語教育 —保科孝一と時枝誠記—
大阪府立大大学院・院生 永田洋史
2. 小学校国語教科書と学習国語辞典における派生語 筑波大大学院 大塚貴史
3. 「『全然』+『肯定表現』」に関する一考察
—「配慮」をキーワードとして— 至学館大 加古有子
4. 「言語文化に関する事項」の指導における通時コーパス活用の可能性 群馬大 河内昭浩
5. 国際バカロレア DP『言語A 文学』における「見ること」の指導方略 東京学芸大 中村純子

■第3会場 G21 司会 植山俊宏(京都教育大), 河野順子(白百合女子大)

1. 国語科クリティカル・リーディング指導の研究(3)
—中学校教科書における「読み比べ」教材の検討— 広島大大学院・院生 澤口哲弥
2. 説明的文章の批判的読みの指導における学力形成と教育評価
—中学1年生を対象とした実験授業を通して— 広島大大学院・院生 村井隆人
3. 論説・評論の読みにおける〈自分ごと〉認識の理論的検討
—中等国語科で育成を目指す資質・能力を踏まえて— 北海道教育大 幸坂健太郎
4. 説明的文章教材の難易度を決める要因(2)
—根拠の構造に焦点をあてて— 福岡教育大 青山之典
5. 批判的読みの学習活動の開発に資する説明的文章教材の特性把握の観点
兵庫教育大 吉川芳則

■第4会場 G23 司会 田中宏幸(安田女子大), 三浦和尚(愛媛大)

1. ICT活用の国語科授業その実態と課題
—学習指導要領改訂案を視野に入れての「小学校教育現場の今とこれから」—
東京福祉大 望月之美
2. 国語科教育における想起の意義に関する一考察
—岡本夏木の論考を手がかりとして— 佐賀大 竜田 徹
3. 小中高の論理教育カリキュラム策定のための基礎研究(1)
—理論的枠組みの構築—
岡山大 宮本浩治, 広島大 難波博孝
立正大 篠崎祐介, 北海道教育大 幸坂健太郎
兵庫教育大 吉川芳則, 福岡教育大 青山之典
4. 小中高の論理教育カリキュラム策定のための基礎的研究(2) —実態調査—
立正大 篠崎祐介, 福岡教育大 青山之典
兵庫教育大 吉川芳則, 北海道教育大 幸坂健太郎
広島大 難波博孝, 岡山大 宮本浩治

■第5会場 G22 司会 甲斐雄一郎(筑波大), 中村敦雄(明治学院大)

1. 「インプロ(即興演劇)×他者とのコミュニケーション」授業に関する一考察
足立区立扇小 神永裕昭
2. 劇をつくる「場」で起きていること
—「走れメロス」の劇化に関する考察— 静岡市立安倍川中 下田 実
3. 聞き取りメモの研究
—機能的な聞き取りメモの有効性の考察— 奈良教育大大学院・院生 明尾香澄
4. 小中学校国語科における「話すこと・聞くこと」の指導
常葉大 篠原京子
5. 「聞くこと」の教育における能動性と受動性に関する考察
福山市立大 森美智代

■第6会場 G28 司会 米田 猛(富山大), 河野智文(福岡教育大)

1. 国語教育と英語教育の連携 —実践方法の体系化に向けて—
東京大大学院・院生 柁木貴之
2. 1920年代朝鮮における日本語教授法の転換
—山口喜一郎と蘆田恵之助との教科書編纂方針の差異について—
筑波大大学院・院生 KIM BOYE
3. 国語教育と日本語教育をつなぐ連関表の作成作業から見える国語教育の課題
—外国にルーツを持つ高校生の読解支援を通して— 北陸大 石津みなと
4. 沖山理論の現代的意義の考察(2)
—読解理論の変容を実践記録から探る— 創価大 石丸憲一
5. 石森延男の関わった学習用読物集
—出発点としての読物雑誌「帆」をめぐる— 日本体育大 府川源一郎

- 第7会場 G29 司会 小川雅子(山形大), 児玉 忠(宮城教育大)
1. アクティブラーニングと文芸研方式の授業 龍谷大学大学院 村尾 聡
 2. 教科等横断的な視点に立った国語科における指導研究 中部学院大, 愛知教育大学大学院・院生 山田丈美
 3. 資質・能力の評価に関する考察③
—“SELF-AUTHORSHIP”から“SELF-TRANSFORMATION”へ— 広島大 本渡 葵
 4. 国語科授業における資質・能力の相互作用分析 —中学校の事例から—
東京学芸大 細川太輔, 東京学芸大 曹蓮
東京学芸大学附属竹早中 森頭子
東京学芸大 中村和弘
 5. 資質・能力(コンピテンシー)を深める国語科言語能力・テキスト形式 愛知教育大教職大学院 佐藤洋一

- ◆2 理事会 学生センターA棟3階 G36 12:10-13:30
 ◆3 総会 学生センターC棟1階 GC1大講義室 13:30-14:50
 ◆4 シンポジウム 学生センターC棟1階 GC1大講義室 15:00-17:30

*入りきらない場合はGC2大講義室も使用し同時中継

テーマ 「新学習指導要領, わたしはこう見る」

登壇者 佐伯 胖(田園調布学園大学大学院)

石井英真(京都大学大学院)

田村 学(國學院大學)

望月善次(元・岩手大学)

コーディネーター 藤井知弘(岩手大学)

- ◆5 懇親会 18:30-20:30 ホテルメトロポリタン本館4F

<第2日目>

- ◆1 課題研究発表 学生センターC棟1階 GC1大講義室 9:30-12:00
 テーマ 「国語教育における調査研究(2) エビデンスの構築とその課題」
 登壇者 足立幸子(新潟大学)
 森 篤嗣(京都外国語大学)
 脇本健弘(横浜国立大学)
 コーディネーター 渡辺貴裕(東京学芸大学)
- ◆2 昼食 並びに 研究部門会議 12:00-13:00
- ◆3 自由研究発表 学生センターA棟1階および2階 13:00-16:10

■第1会場 G1大 司会 鶴田清司(都留文科大), 佐野比呂己(北海道教育大釧路)

1. 異なる解釈を相互に評価しながら読み深める文学の授業
—コンピテンシー・ベースによる新しい授業デザインの試み— 立教小 安達真理子
2. 読みの交流における認知的負荷の検討 品川区立台場小 西田太郎
3. 読みの交流の成立を促す会話上の機能
—交流におけるモニタリングが学習者の意味形成に与える影響—
上越教育大教職大学院 上月康弘
4. 読みの交流における「領有」の実相
—「教室用読者論」の実践化の試み— 岩手大 藤井知弘
岩手大教職大学院・院生 阿部美郷

■第2会場 G2大 司会 望月善次(元・岩手大), 府川源一郎(日本体育大)

1. 絵本『でんしゃにのって』(とよたかずひこ)の研究
—絵本モニタージュ論による分析を中心に— 鳴門教育大・院生 余郷裕次
2. 中学生に対する絵本の読み聞かせの効果の研究Ⅲ
—継続的読み聞かせに対するメッセージ文の分析を中心に—
元・兵庫教育大学連合大学院・院生 森 慶子
3. 賢治童話を「読むこと」の可能性 東京学芸大 大澤千恵子
4. 民話「スーホの白い馬」を巡る思想の考察 広島大学大学院 黒川麻実

■第3会場 G21 司会 佐藤洋一(愛知教育大), 吉川芳則(兵庫教育大)

1. 国分一太郎の綴り方教育論 —無着成恭の文集「きかんしゃ」への継承—
環太平洋大 佐内信之
2. 「書くこと」における地域教材・学習材の開発(2)
—単元「心と心を繋ぐ意見文」の場合—
比治山大 井口あずさ
串本市立串本西中 濱中まゆみ
3. 大学生に対する論文指導の方法 松本大 國府田祐子
4. 中・高校生の文章構成の学習指導研究 青山学院大 長谷川祥子

■第4会場 G23 司会 町田守弘(早稲田大), 松山雅子(大阪教育大)

1. 『万葉集』の単元開発と実践
—古典の魅力を引き出す単元の工夫 その9— 東京学芸大学附属竹早中 森 顕子
2. 古典学習における教材開発に関する研究
—「古典と絵本を比べて紹介しよう〜『古典単元学習』の事例を通して〜」—
東京学芸大学附属竹早中 菊地圭子
3. 本文比較による『源氏物語』教材化の可能性 —「若紫」巻を中心に—
横浜国立大大学院・院生 安野 葵
4. 『竹取物語』の教材研究に於ける通読の意義
—通読してわかる教科書表記の課題— 岩手大 田中成行
5. 漢文教育実践史の検討
—課題からの考察:1965-1974(昭和40年代)— 島根大 富安慎吾
6. 戦後における漢文教育実践の展開
—昭和20・30年代の『漢文教室』誌掲載論考を中心に— 元・高知大 渡辺春美

■第5会場 G22 司会 塚田泰彦(関西外語大), 間瀬茂夫(広島大)

1. 指導主事の校内研修会への関わり方についての研究
—国語科授業研究を伴う校内研修会における教師の力量形成—
横浜国立大大学院・院生 本間隆司
2. 国語科教師志望学生への学習指導案作成指導
—主体的・対話的で深い学びを实践できる教員の養成を目指して— 秀明大 富谷利光
3. 自己を見つめる国語単元学習の創造
—単元 もう一つの生き方に学ぶ を取り上げて— ノートルダム清心女子大 伊木 洋
4. 言語技術教育からみた大村はま『中学作文』の意義と課題
元・茨城キリスト教大 大内善一

■第6会場 G28 司会 難波博孝(広島大), 桑原 隆(元・早稲田大)

1. 小学校国語科における伝統的な言語文化の指導 東京都世田谷区立砧南小 増田 泉
2. 方法知の転移を促し, 資質・能力を育成する学習デザイン
—説明的文章の読み書き関連の実践事例から— 上越教育大教職大学院 五十嵐啓滋
3. 授業に対する教員意識と学習成績
—茨城県の中学校教員に対する調査をもとに— 茨城大 鈴木一史
4. 上位・下位の階層による指導に関する概念の整理試案 日本女子大 笹平真之介

■第7会場 G29 司会 島田康行(筑波大), 細川太輔(東京学芸大)

1. 学生による文章相互評価に見る低評価例文の特徴分析 北海道文教大 矢部玲子
2. 児童・生徒の同一題材作文記述の検討 ー対比・比喩等の出現に着目してー 東京家政大 阿部藤子
3. 書き手と読み手の双観点を取り入れる効果
ーピア・レスポンスを用いた実践からー 九州産業大 石元みさと
東京学芸大学附属特別支援学校 末利容子
4. 『国語教育』誌における描写表現指導に関する考察11 常磐大 渡邊洋子

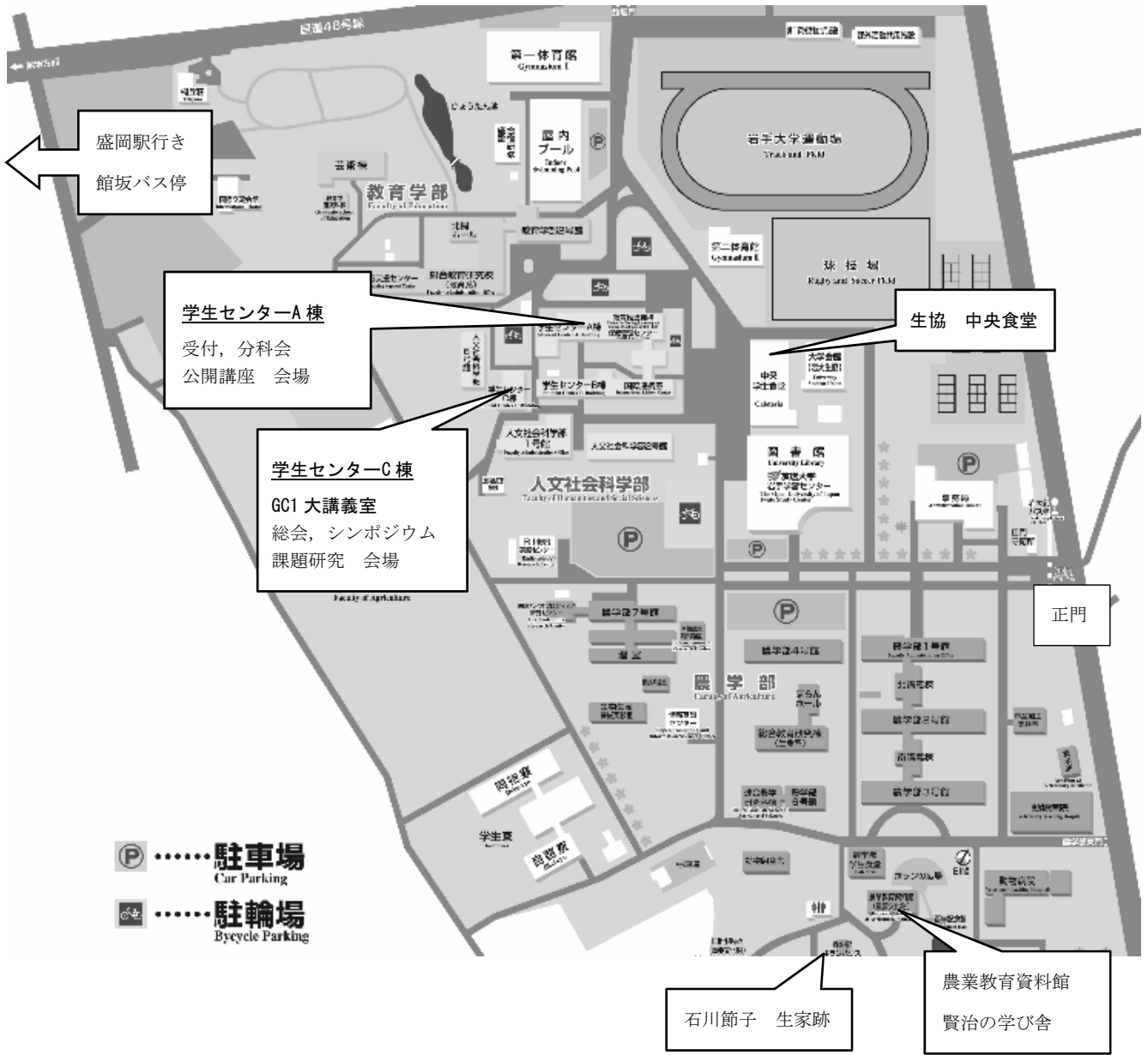
◆4 ラウンドテーブル 学生センター棟A棟3階 13:00-15:40

1. 国語教科書における言語活動例の提示形式と学習展開の実態に関する研究 G35教室
コーディネーター 松本 修(玉川大学)
小林一貴(岐阜大学教育学部), 佐藤多佳子(上越教育大学大学院学校教育研究科), 山口政之(敬愛大学国際学部), 坂口京子(静岡大学教育学部), 桃原千英子(沖縄国際大学総合文化学部), 西田太郎(品川区立台場小学校)
2. これからの「国語の特質」の探求と指導のあり方(2) G36教室
ー新学習指導要領への継承と発展ー
コーディネーター 山室和也(国士舘大学)
中村和弘(東京学芸大), 宮城 信(富山大学), 松崎史周(日本女子体育大学)
3. 読書を通して育てる子ども像 G31教室
コーディネーター 有働玲子(聖徳大学)
吉田和夫(玉川大学教師教育リサーチセンター), 稲井達也(日本女子体育大学)

◆5 公開講座 学生センターA棟2階 G22 (第5会場) 13:00-16:10
テーマ 「インクルーシブ教育とアクティブ・ラーニング②

- ー多言語 多文化と授業づくりー
話題提供者 妹尾知昭(仙台白百合女子大学)
羽田野真帆(常葉大学)
松井かおり(朝日大学)
コーディネーター 石田喜美(横浜国立大学)

キャンパスマップ



会場図【学生センターA棟】

